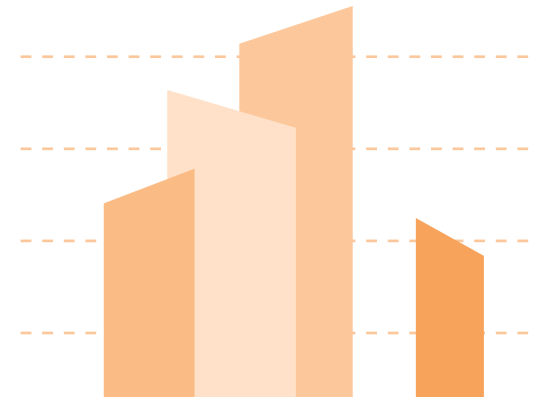


第4部 県民意識調査 結果の概要



令和7年県の施策に関する県民意識調査結果（概要）

1 調査の目的

「いわて県民計画（2019～2028）」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか、また、どの程度幸福度を感じているか等を把握し、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすることを目的とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内に居住する18歳以上の個人
- (2) 調査対象者数 5,000人
- (3) 抽出方法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
- (4) 調査方法 設問票によるアンケート調査（郵送法）
- (5) 調査時期 令和7年1～2月（毎年調査）
- (6) 調査項目
 - ア 生活全般の満足度
 - イ 「いわて県民計画（2019～2028）」の10の政策分野に関連する57項目に係る重要度、満足度について
 - ウ 幸福度
 - エ 家事時間及び生活時間
 - オ 県民の普段の行動
- (7) 回収者数 3,159人
- (8) 有効回収率 63.2%
- (9) 回答者の属性

【性別】	回答者数	割合
男性	1,395	(44.2)
女性	1,718	(54.4)
その他	6	(0.2)
不明	40	(1.3)

【年齢別】	回答者数	割合
18～19歳	26	(0.8)
20～29歳	128	(4.1)
30～39歳	234	(7.4)
40～49歳	384	(12.2)
50～59歳	544	(17.2)
60～69歳	708	(22.4)
70歳以上	1,094	(34.6)
不明	41	(1.3)

【居住地別】	回答者数	割合
県中央広域振興圏	920	(29.1)
県南広域振興圏	959	(30.4)
沿岸広域振興圏	732	(23.2)
県北広域振興圏	548	(17.3)

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	256	(8.1)
家族従業者	87	(2.8)
会社役員・団体役員	193	(6.1)
常用雇用者	870	(27.5)
臨時雇用者	363	(11.5)
学生	47	(1.5)
専業主婦（主夫）	312	(9.9)
無職	725	(23.0)
その他	92	(2.9)
不明	214	(6.8)

【子どもの数別】	回答者数	割合
1人	355	(11.2)
2人	1,121	(35.5)
3人	587	(18.6)
4人	106	(3.4)
5人以上	30	(0.9)
子どもはいない	682	(21.6)
不明	278	(8.8)

【居住年数別】	回答者数	割合
10年未満	83	(2.6)
10～20年未満	109	(3.5)
20年以上	2,768	(87.6)
不明	199	(6.3)

(注) 小数点第1位未満四捨五入の関係から、内訳の計が100%にならない場合があります。

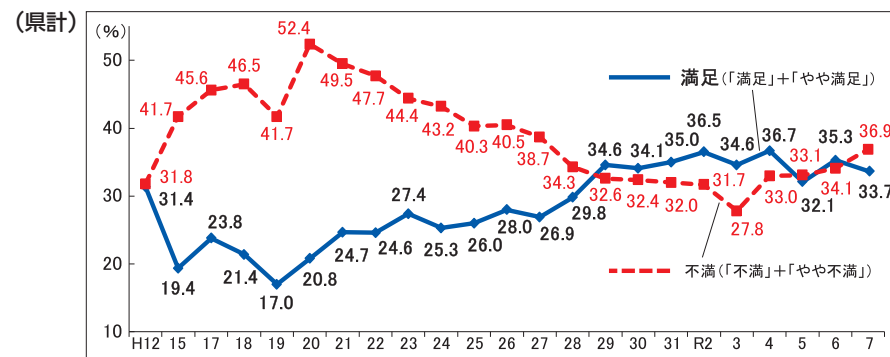
() 内は%

■調査結果の概要■

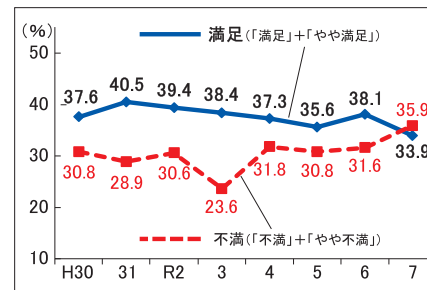
問1 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

前回と比べて満足割合が1.6ポイント減少

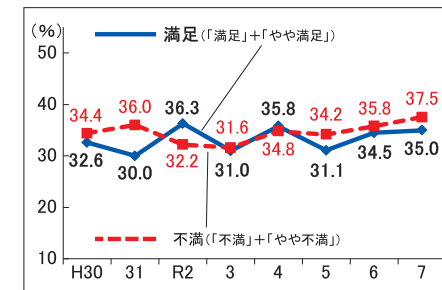
- 県計では、満足（「満足」＋「やや満足」）の割合が33.7%となっており、不満（「不満」＋「やや不満」）の割合は36.9%となっている。
- また、令和6年調査と比較すると、満足割合は35.3%から1.6ポイント減少し、不満割合は34.1%から2.8ポイント増加している。
- 広域振興圏別にみると、満足割合は、県央、沿岸で減少している。不満割合は、全ての広域振興圏で増加している。



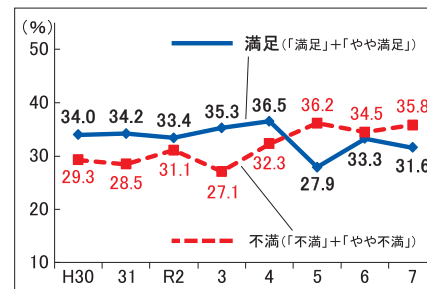
（県中央広域振興圏）



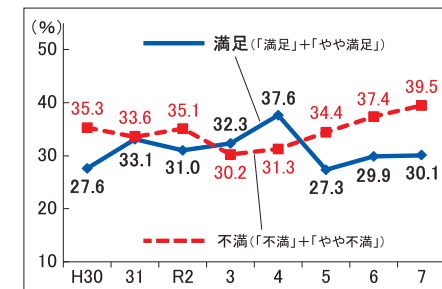
（県南広域振興圏）



（沿岸広域振興圏）



（県北広域振興圏）



令和7年県の施策に関する県民意識調査結果（概要）

問2 あなたの暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要と考えますか。

あなたの現在の暮らしからみて、調査項目の状態についてどれくらい満足していますか。

【重要度】

- 重要度の高い項目は、「交通事故の少ない社会づくり」、「犯罪への不安の少ない社会づくり」、「消費者トラブルへの適切な相談や支援」などとなっている。
- 一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」、「外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組」などの項目が重要度が低くなっている。

重要度が高い項目

順位	(参考) R6年順位	10の政策分野	項目番号	項目
1	1	⑤	31	交通事故の少ない社会づくり
2	2	⑤	30	犯罪への不安の少ない社会づくり
3	7	⑤	32	消費者トラブルへの適切な相談や支援
4	5	⑤	34	感染症に対する備えが整っている社会
5	4	①	3	適切な医療体制

※ 項目は設問文を要約して記載。

重要度が低い項目

順位	(参考) R6年順位	10の政策分野	項目番号	項目
57	57	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
56	56	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
55	55	⑨	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組
54	54	④	27	外国人も暮らしやすい社会
53	53	①	1	身体の健康に関する相談・指導

【満足度】

- 満足度の高い項目は、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」、「ごみ減量やリサイクルの定着」、「適切な医療体制」などとなっている。
- 一方、「商店街のにぎわい」、「農林水産業の担い手確保」、「公共交通機関の維持・確保」などの項目が満足度が低くなっている。

満足度が高い項目

順位	(参考) R6年順位	10の政策分野	項目番号	項目
1	1	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
2	2	⑧	49	ごみ減量やリサイクルの定着
3	4	①	3	適切な医療体制
4	3	⑤	33	購入する食品の安全性に不安を感じない社会
5	7	⑦	46	世界遺産を守り将来に伝えていくための取組

満足度が低い項目

順位	(参考) R6年順位	10の政策分野	項目番号	項目
57	57	⑥	36	商店街のにぎわい
56	56	⑥	42	農林水産業の担い手確保
55	55	④	24	公共交通機関の維持・確保
54	54	⑥	35	安定した就職環境
53	53	⑥	38	県内経済の活性化

【ニーズ度】

- ニーズ度の高い項目は、「安定した就職環境」、「公共交通機関の維持・確保」、「農林水産業の担い手確保」などとなっている。
- 一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」などの項目がニーズ度が低くなっている。

ニーズ度が高い項目

順位	(参考) R6年順位	10の政策分野	項目番号	項目
1	1	⑥	35	安定した就職環境
2	3	④	24	公共交通機関の維持・確保
3	2	⑥	42	農林水産業の担い手確保
4	4	⑥	36	商店街のにぎわい
5	5	③	17	いじめや不登校への適切な対応

ニーズ度が低い項目

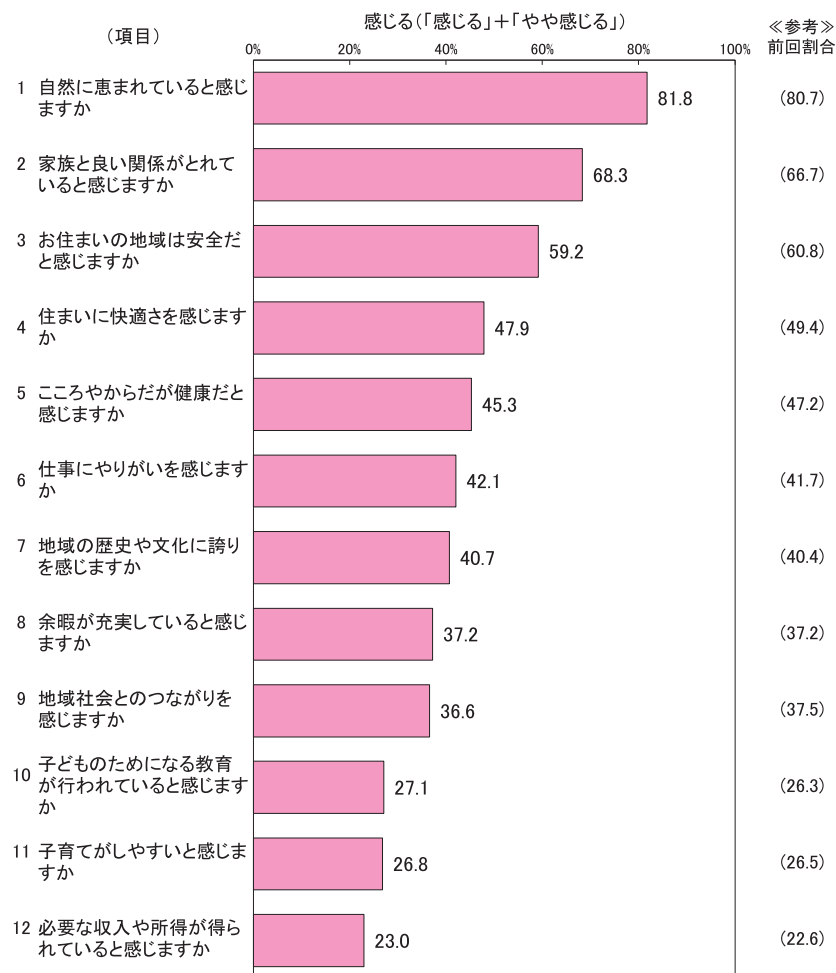
順位	(参考) R6年順位	10の政策分野	項目番号	項目
57	57	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
56	55	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
55	56	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
54	54	①	1	身体の健康に関する相談・指導
53	53	①	2	心の健康に関する相談・支援

10の政策分野
 ①「健康・余暇」、②「家族・子育て」、③「教育」、④「居住環境・コミュニティ」、⑤「安全」、⑥「仕事・収入」、⑦「歴史・文化」、
 ⑧「自然環境」、⑨「社会基盤」、⑩「参画」

問3 県では、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

問3-1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

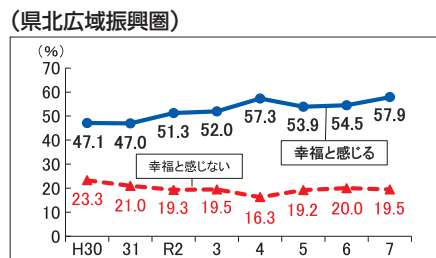
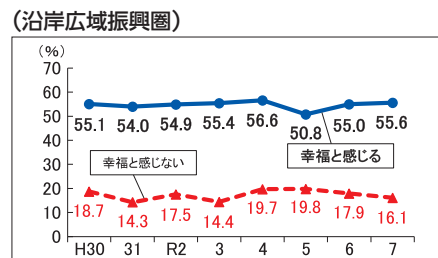
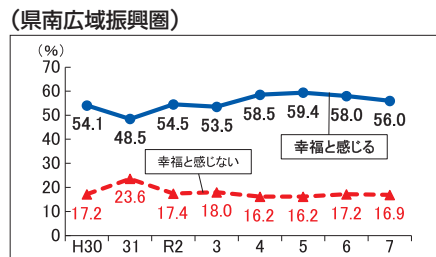
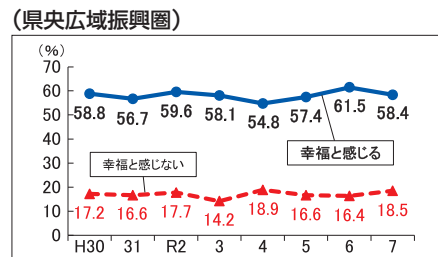
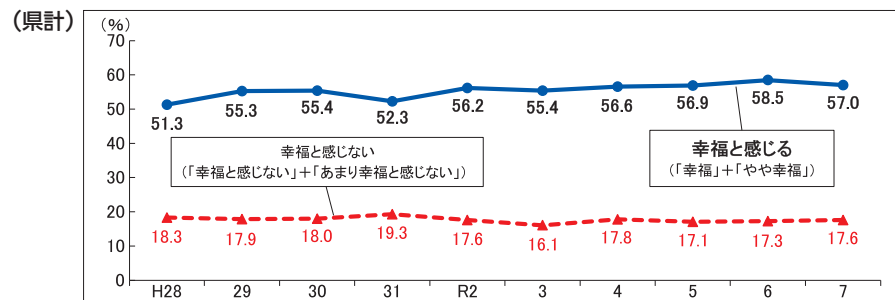
- 「感じる」（「感じる」＋「やや感じる」）の割合が高いのは、「自然に恵まれていると感じますか」の81.8%、「家族と良い関係がとれていると感じますか」の68.3%、「お住まいの地域は安全だと感じますか」の59.2%などとなっている。



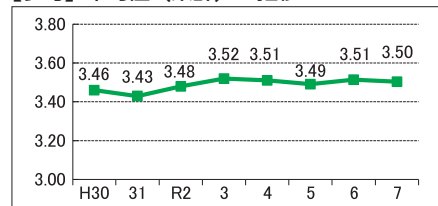
問3-2 あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

幸福と感じる割合が5割後半、全ての広域振興圏で50%以上

- 県計では、幸福と感じる割合は57.0%となっており、前回と比較するとほぼ横ばいとなっている。
- 広域振興圏別に前回と比較すると、幸福と感じる割合は、県央及び県南では減少し、沿岸及び県北では増加している。幸福と感じない割合は、県南、沿岸及び県北で減少し、県央で増加している。



【参考】 平均値 (県計) の推移

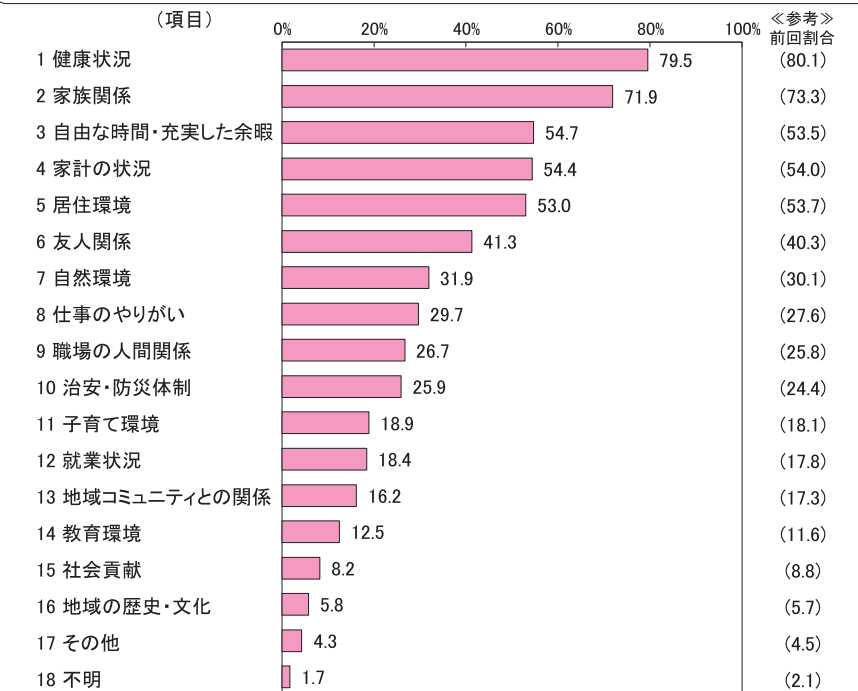


・平均値について

岩手県総合計画審議会「県民の幸福感に関する分析部会」で活用している主観的幸福感の平均値のこと。
「幸福だと感じる」から「幸福だと感じない」までの5段階の選択肢に応じて5点から1点を配点すると、県全体の平均値は5点満点中3.50点となりました。

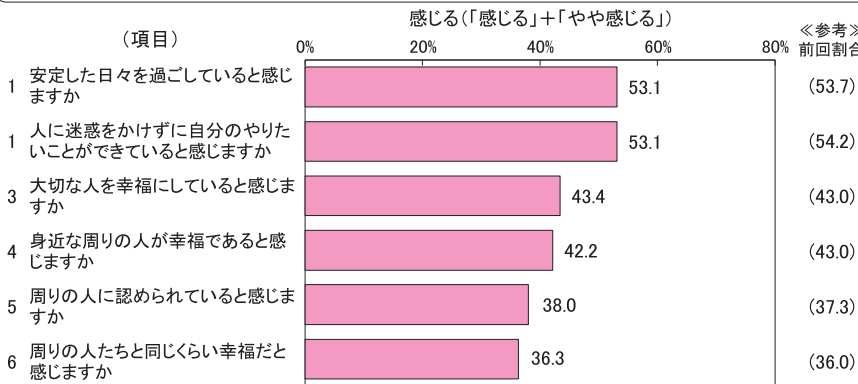
問3-3 あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

○幸福かどうか判断する際に重視すると回答した人の割合が高いのは、「健康状況」の79.5%、「家族関係」の71.9%などとなっている。



問3-4 身近な周りの人の幸福等について、あなたの実感をおたずねします。

○「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「安定した日々を過ごしていると感じますか」の53.1%、「人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができていると感じますか」の53.1%などとなっている。



令和7年県の施策に関する県民意識調査結果（概要）

（参考1） 問2の各調査項目一覧（重要度、満足度、ニーズ度得点）

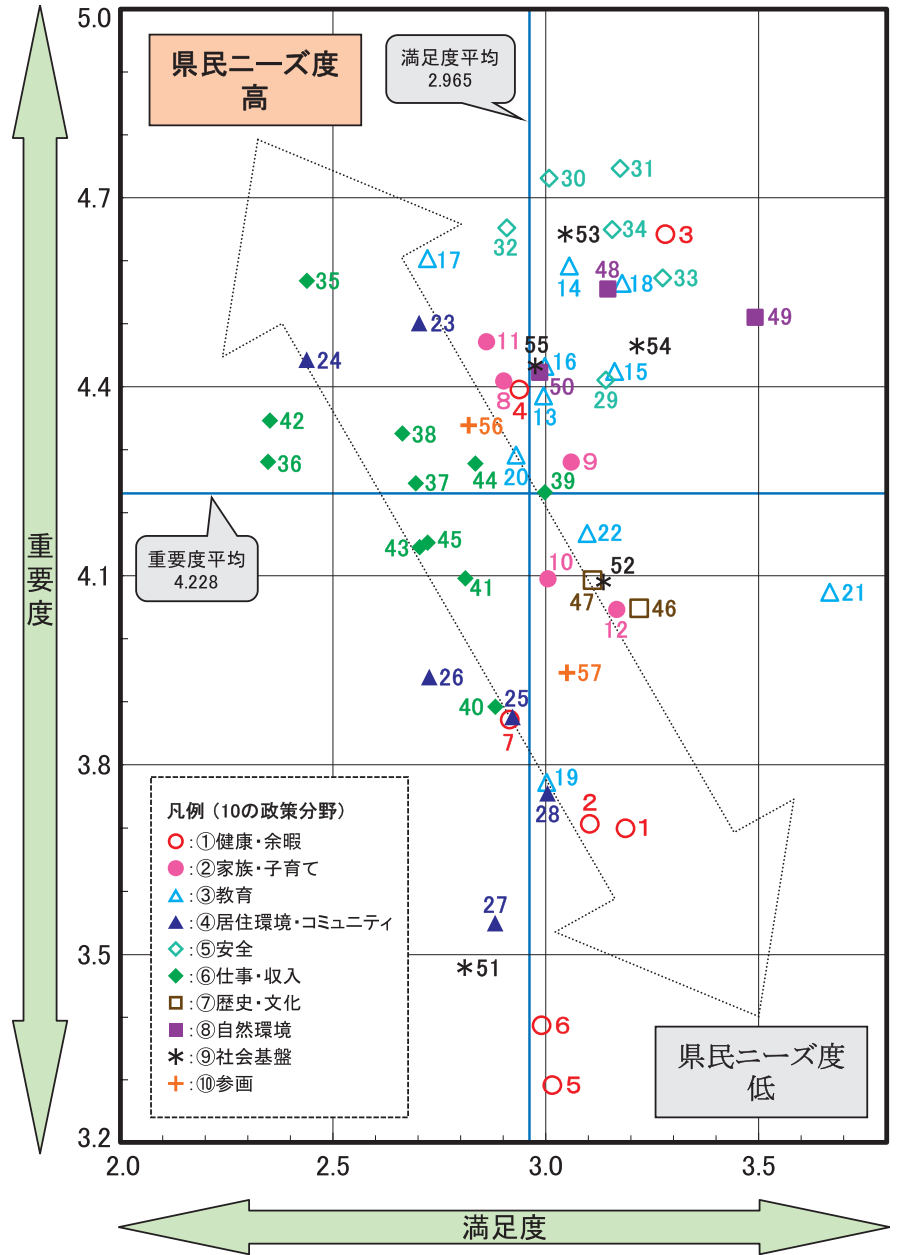
10の政策分野	No.	項目	重要度	順位	満足度	順位	ニーズ度	順位
①健康・余暇	1	身体の健康に関する相談・指導	3.699	53	3.187	7	0.512	54
	2	心の健康に関する相談・支援	3.707	52	3.102	17	0.605	53
	3	適切な医療体制	4.643	5	3.280	3	1.362	29
	4	住み慣れた地域で生活できる環境	4.395	24	2.937	34	1.459	18
	5	日常的に文化芸術に親しむ機会	3.290	57	3.014	23	0.276	57
	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会	3.386	56	2.989	31	0.397	56
	7	自分に適した内容や方法で学べる環境	3.871	49	2.915	37	0.956	43
②家族・子育て	8	安心な子育て環境整備	4.410	23	2.902	39	1.509	16
	9	子どもの育ちと学びに関する学校、家庭、地域の連携	4.281	30	3.058	19	1.222	36
	10	地域全体での青少年の健全育成	4.095	39	3.006	25	1.089	38
	11	仕事と生活を両立できる環境	4.473	15	2.860	42	1.613	10
	12	ペットなど動物のいのちを大切にできる社会	4.047	44	3.168	10	0.879	47
③教育	13	子どもの学力向上に向けた教育	4.387	25	2.994	30	1.393	26
	14	人間性豊かな子どもの育成	4.592	8	3.055	20	1.537	14
	15	子どもの体力向上や心身の健康保持	4.424	20	3.161	11	1.263	33
	16	全ての子どもが学べる環境	4.431	19	2.999	28	1.432	23
	17	いじめや不登校への適切な対処	4.603	7	2.721	48	1.882	5
	18	子どもが安全・安心に学ぶことができる環境	4.563	11	3.179	8	1.384	27
	19	特色ある私学教育の充実	3.771	50	3.001	27	0.769	49
	20	次世代を担う人材育成	4.291	29	2.929	35	1.362	28
	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍	4.072	42	3.668	1	0.404	55
	22	大学の地域社会貢献	4.168	35	3.097	18	1.070	39
④居住環境・コミュニティ	23	生活基盤整備などが進んだ生活環境	4.501	14	2.702	50	1.799	6
	24	公共交通機関の維持・確保	4.443	17	2.438	55	2.006	2
	25	つながりや活力を感じられる地域コミュニティ	3.877	48	2.921	36	0.956	44
	26	移住・定住を増やすための取組	3.940	46	2.726	47	1.214	37
	27	外国人も暮らしやすい社会	3.548	54	2.880	41	0.668	52
	28	文化芸術・スポーツを生かした地域づくり	3.755	51	3.003	26	0.753	50
⑤安全	29	地域の協力による防災体制づくり	4.411	22	3.140	14	1.270	32
	30	犯罪への不安の少ない社会づくり	4.729	2	3.007	24	1.722	8
	31	交通事故の少ない社会づくり	4.746	1	3.174	9	1.572	12
	32	消費者トラブルへの適切な相談や支援	4.652	3	2.907	38	1.744	7
	33	購入する食品の安全性に不安を感じない環境	4.572	9	3.276	4	1.296	30
⑥仕事・収入	34	感染症に対する備えが整っている社会	4.647	4	3.156	12	1.491	17
	35	安定した就職環境	4.568	10	2.439	54	2.129	1
	36	商店街のにぎわい	4.281	31	2.347	57	1.934	4
	37	中小企業の成長・発展	4.247	33	2.695	52	1.552	13
	38	県内経済の活性化	4.325	28	2.663	53	1.662	9
	39	地域資源を活用した製品開発・販売	4.232	34	2.997	29	1.236	35
	40	海外での県産品の販路拡大	3.893	47	2.882	40	1.011	41
	41	魅力ある観光地づくり	4.096	38	2.811	45	1.285	31
	42	農林水産業の担い手確保	4.346	26	2.351	56	1.994	3
	43	ニーズにあった農林水産物の産地形成	4.145	37	2.702	51	1.443	21
⑦歴史・文化	44	農林水産物の販路拡大	4.278	32	2.834	43	1.444	20
	45	活力ある農山漁村の形成	4.153	36	2.721	49	1.432	24
	46	世界遺産を守り将来に伝えていくための取組	4.048	43	3.220	5	0.829	48
	47	郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境	4.092	40	3.111	16	0.981	42
	48	自然環境を大切に生活	4.555	12	3.143	13	1.412	25
⑧自然環境	49	ごみ減量やリサイクルの定着	4.511	13	3.491	2	1.020	40
	50	温暖化防止の取組	4.424	21	2.985	32	1.439	22
	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組	3.478	55	2.809	46	0.669	51
⑨社会基盤	52	情報通信技術の活用	4.088	41	3.137	15	0.951	45
	53	災害に強く安心して暮らせる県土	4.642	6	3.047	22	1.595	11
	54	交通や物流の拠点に通じる道路整備	4.467	16	3.213	6	1.254	34
	55	社会資本の維持管理	4.432	18	2.975	33	1.457	19
⑩参画	56	個性と能力を發揮できる社会の実現	4.338	27	2.818	44	1.520	15
	57	市民活動や県民活動に参加しやすい社会	3.946	45	3.048	21	0.897	46
		平均	4.228		2.965		1.263	

注）重要度（平均）、満足度（平均）は、時系列で平均の差を検定していくため、標本平均を採用しています。

【用語の説明】

重要度（平均）：「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化したもの。
 満足度（平均）：「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化したもの。
 ニーズ度：重要度（平均）－満足度（平均）
 （重要度が高く、住民の満足度が低い状態を（行政）ニーズが高いと読む）

（参考2） 問2の項目別の重要度と満足度の関係



※1 ——— は各項目の平均値（重要度：4.228、満足度：2.965）

※2 上の図内の番号は、前頁の表の調査項目番号と一致。